

回覧用

## 長崎バイオパークが、施設で作る木工イスとテーブルを購入

もうすぐゴールデンウィーク。どこに行くか、迷っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 家族連れで賑わう長崎バイオパーク(西海市西彼町)では、お客様の休憩用の特注のイスとテーブルを、障害福祉サービス事業所だるま会(佐世保市天神)から購入しています。

購入のきっかけは何だったのでしょうか？

今回は、長崎バイオパーク広渡雅文課長と、だるま会土田樹八郎理事長に話を聞きました。

- テーブルをだるま会に発注するきっかけは？

**広渡さん**「弊社社長が展示会でだるま会の木工商品を見て、『いい商品だ』と気に入って、だるま会へ連絡したのがきっかけです。」



広渡課長(中央)とスタッフのお2人。

ネコちゃん達と触れ合える「ペットハウス」は、あつという間に時間が過ぎます

- 出来上がった商品を見た感想は？

**広渡さん**「丈夫で、デザインもシンプル。『子供でも大人でも使えるように』というこちらの要望どおりでした。天然素材で、園内の雰囲気にも合うし、言うことナシです。」

「この机は、作った人のハンデを感じさせません。健常者でもノコを使うのは容易ではないのに。」

- 発注していいことはありましたか？

**広渡さん**「それまでは、社員が作っていましたが、これが大変で…。発注して、手間が省けたうえに値段も安く、たくさん購入することができました。」



だるま会の皆さんは木工職人。

バーナーで焙る姿はカッコいい!

**土田さん**「プランター、ベンチ等の木工商品を、お客様のご要望に添って作りますが、ある焼鳥屋から『酔っぱらいが投げられないように、重いのを作って』という注文が来たこともあります(笑)。」

「日宇小学校から、校内に放置されていたくすの木で、イスとテーブルを作って欲しいと注文が来ました。捨てるのは忍びないという校長先生のお気持ちに応える商品ができたでしょうか。」(写真下)

### プレゼントコーナー

長崎バイオパーク入園ペアチケット(大人) 5組(郵送) だるま会の特注ミニ椅子5個 (佐世保市下京町の「ショップ&カフェみつば」に取りに行ける方) をプレゼント!

お名前、電話番号、感想、希望する商品名(か)を書いて、下のFAXへ4月27日(火)正午までにお申し込みください。

障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ法人税等の優遇措置があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」発行部数2465部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年4月23日(毎月第2・第4金曜発行)

「天声人語」を10年以上担当していた辰濃和男氏「文章のみがき方」(岩波新書)は、迷いながら文章を書いている筆者には、宝箱のような本でした。この本を読んで、「人の心を動かせる文章を書きたい!」と思い、いくつか習慣を変えました。すぐに上達するわけではないですが、希望は持ち続けたいです。



回覧用

## 有川町漁協が、障害者作業所から押し花入り便せんを購入

長崎県の水産加工品のなかでも厳しい基準を満たした平成「長崎俵物」として認定されている「いか茶漬け」と「スイカー一夜干し」を生産している有川町漁業協同組合(南松浦郡新上五島町)では、有川福祉ほたる作業所(同)から、押し花入り便せんを購入しています。押し花入り便せんをどのように活用しているのでしょうか？

今回は、有川町漁協の江濱真一郎課長補佐と、有川福祉ほたる作業所の橋口指導員と中村さんにインタビューしました。

- 押し花入り便せんを施設に注文したきっかけは？

**江濱さん**「当漁協の商品をお客様に送る時、お礼の文書をワープロで作っていましたが、暖かみがないと感じていたんです。

ひと言でも手書きでお礼を書きたかったので、押し花をしている作業所に相談したところ、この便せんを提案してもらいました。」

- お客様からの反響は？

**江濱さん**「お得意様から『この前商品に同封されていた押し花のメモ用紙、かわいかった！』と言われることもありますよ。」

- それは嬉しいでしょうね。

**江濱さん**「私たちの地元で作る商品の良さが、上五島の押し花が入った便せんでお客様に伝われば言うことないですね。」



江濱さんが持っているのが平成「長崎俵物」



橋口さん(右端)、中村さん(左端)と作業所のみなさん。

**橋口さん**「どんな押し花ができるかは、みんなの感性次第で同じものは1つもありません。」

**中村さん**「花が変色するため作り置きができない分、季節感があふれ、それを気に入った島外のお客様が、ハガキを定期的に購入してくださいます。

『もらった時に嬉しい花を作ろう』をモットーにみんなで頑張ります。」

### プレゼントコーナー

押し花入りハガキ3枚セット(写真下)を3名様にプレゼント！

お名前、電話番号、感想、「有川福祉ほたる作業所の押し花ハガキ希望」と書いて、下のFAXへ5月21日(金)までにお送りください。



### 障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ法人税等の優遇措置があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2532部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年5月14日(毎月第2・第4金曜発行)



大人気漫画「ワンピース」を勧められ半信半疑で読み始めました。漫画だからと甘く見ていたのですが... 今では大ファンです(ルフィ大好き!)。ある社長いわく「新入社員研修でこの漫画を読ませたら、チームで働く考えが身に付くよ」。ドキドキしたり、ジーンとしたりで...眠くても読みたくなるので、困ってしまいます。

回覧用

## 農園での農作業を、障害者の施設が受託

あの草野仁さんから直接、ビワの注文が入る川田農園(島原市浜の町)と、知的障害者通所授産施設ありえ未来ワークセンター(南島原市有家町)の間では、障害のある方が農作業をする対価として、委託料を受け取るという契約を締結しています。

障害のある方は、畑でどのような作業をしているのでしょうか？

今回は、川田農園の川田豊一代表と、ありえ未来ワークセンターの湯田愛海指導員にインタビューしました。

- 施設と取り引きを始めたきっかけは？

**川田さん**「施設の方が『とにかく1回作業をさせて欲しい』とお願いに来られたのがきっかけです。」

「それまで障害者との接点は全くなく、知的障害のある方に本当にできるのか、正直、不安でしたが、実際にやってみると『これはいける!』と、1年中、作業してもらえることもあり、発注しました。」

- 障害者の長所は？

**川田さん**「障害はあっても、若くて体力があります。草刈りや肥料やりはもちろんですが、彼らがビニールハウス2000坪のビニールを張ってしまったのは驚きました。」



川田代表ご夫妻

- 配慮している点はありますか？

**川田さん**「気づいた点を指導してできるようにしたら誉めることです。『あんたがおったけん、助かった』と気持ちを素直に伝えれば、やり甲斐を感じてもらえますよ。」



日焼けに負けず頑張る湯田さん(左)と、伊藤さん

**湯田さん**「障害者4~5人と職員がチームになって作業をしていますが、『あの人ができるなら、俺もできる』と刺激になっていて、みんなのスキルが全体的に上がっているんです。」

川田農園で作業を始めてから、障害のある方が受け取る収入も倍以上になり、これからも増えそうです。

今、新商品を開発しており、地域の名産に育て上げたいと思っています！」

### プレゼントコーナー

川田農園さんのハウス桃1キロを3名様にプレゼント!

お名前、電話番号、感想、「川田農園ハウス桃希望」と書いて、下のFAXへ6月10日(木)までにお送りください。

### 障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ法人税等の優遇措置があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



「長崎県CSR通信」 発行部数2582部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年5月28日(毎月第2・第4金曜発行)

川田農園さんの大きくて甘い贈答用ビワは、首都圏だけでなく、海外でも販売しているそうです。また、いちじく狩りなどのお客様が、県外から来られるとのこと。地域の資源を活かして、外貨を稼ぐ発想に感動! 今回の取材で、川田農園さんのように活気のある事業所が県内にあると知って、本当にうれしかったです。

回覧用

## 坪内製パン坪内店長、木村さんインタビュー

五島市内では、オレンジ色のラベルが貼られたパンをよく見かけます。このパンを作っている坪内製パン(五島市中央町)ではパンのリヤカー販売も行っていて、3時間で100ヶ以上売り上げるほど、多くの方に支持されています。

そのリヤカー販売員の1人、清水麻衣子さんはダウン症ですが、元気にリヤカーを押しています。今回は清水さんと一緒にリヤカー販売をしている坪内薫店長と木村しおりさんにインタビューしました。

- 清水さんを採用するきっかけは？

**坪内さん**「今から3年前、鶴南養護学校分教室の生徒だった清水さんを職場実習生として受け入れた後、彼女が当社で働きたいと言ってくれたんです。」

「障害のある方と接したのは清水さんが初めてだったのでまずは3ヶ月間、試行的に雇用しましたが、いったんは採用はむずかしいと判断しました。

でも、情が移ったんですよ。そこで、『補助が出る1年間だけでも雇いたい』と、社長を粘りに粘って説得した結果、ついに『好きにしていよいよ』と(笑)。もう、本採用して丸2年になります。」



接客する清水さん(右)。カラオケ大好きで、知っている曲が流れると踊り出すことも

- 清水さんと接するポイントは？

**木村さん**「金種組み合わせがわからなかったり、気持ちに波があったりして問題が起きた場合、その場で指導します。

また、清水さんのお母さんに報告を欠かさないなどの対応をとっています。

ただ、黙々と仕事をする姿勢は素晴らしいですよ！」

- 雇用してから気持ちに変化はありましたか？

**坪内さん**「清水さんがリヤカー販売をお休みして、木村さんと2人だった時、とても寂しかったんです。大事なものを忘れてきたような感じで...本人が辞めると言っても、辞めさせたくないです。」



右から坪内店長、清水さん、木村さん。3人ともキャラクターがはっきりしていて、楽しく取材ができました！

障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします



「長崎県CSR通信」発行部数2573部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年6月11日(毎月第2・第4金曜発行)

坪内店長の話を聞きながら思い出したのが、CSR通信24号で取材したエス・ケイ・フーズ中村取締役の「店舗スタッフが『やめさせないで!』と言ってくる」というお話。障害の有無にかかわらず、最終的な雇用の決め手は、「理」ではなく「情」なのかも。どんな世の中になっても、人間の根本は変わらないんですね。

回覧用

## 工場内の花壇管理を、障害者の施設が受託

訪問先で色鮮やかな花が出迎えてくれると、ホッとした気分になりますが、花壇の管理は大変だとうかがいます。

時津第7工区の旭屋(時津町西時津)では、工場内の花壇の管理を知的障害者通所授産施設ワークあじさい(長崎市三京町)に委託しています。委託してどんなメリットがあったのでしょうか? 旭屋の川本泰介常務取締役とワークあじさいの副島支援員にインタビューしました。

- 施設に発注するきっかけは?

川本さん「工場内の花壇は、土曜にパートの方にわざわざ出社してもらい作業をお願いしていました。その作業が負担になっていたので、以前から紙の筒の組み立て作業を委託していたワークあじさいでできないか打診してみたんです。」

- 発注した感想は?

川本さん「花を年に2回植え付けてくれるだけでなく、雑草取りなどその後の維持管理もちゃんとしてくれるので、手間が大幅に減りましたよ。」



植え付けているのは施設で作っている花。

花は数十種類も作っていて名前を覚えるのが大変だとのこと...

- 障害者の職場実習生も受け入れているそうですね。

川本さん「20年以上前から特別支援学校の生徒さんを毎年2~3週間受け入れています。1つのことをコツコツとするから、彼らの特性を活かして働ける場所がもっと増えればいいですね。」



副島さん(左から2人目)と農園芸班の皆さんが愛情込めて育てた花を持って「はい、チーズ」

副島さん「老人ホームなどで2ヶ月に1回プランターへの花の植え替えをしていますが、変化があって喜ばれています。」

花の本を買って勉強する方もいるほど一生懸命だし、外での作業は暑さ寒さが厳しいからこそ、作業が終わったら他の仲間を手伝うなど、雰囲気作りを大切にしています。」

### プレゼントコーナー

初夏にふさわしい花の苗5個セットを2名様にプレゼント!(県庁に取りに来られる方限定)

お名前、電話番号、感想、「ワークあじさい花の苗希望」と書いて、下のFAXへ7月9日(金)までにお申し込みください。

障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ法人税等の優遇措置があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



「長崎県CSR通信」発行部数2564部 電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年6月25日(毎月第2・第4金曜発行)

2009年度文部科学白書の原案に、経済格差が教育状況に影響する懸念が盛り込まれるそうです。市販の参考書で早慶大合格率89%を生み出す福岡在住の松原一樹さんは「経済力がない家庭の生徒にも進学の手助けを!」との想いで「9割受かる勉強法」を出版。日本の教育を変える本になるかもしれません。

回覧用

## 全国の子ども達へプレゼントするエプロンは、障害者の施設が作製

創業29年の**童話館**(長崎市中町)は子どもに人間としての力と恵みをもたらそうと、日本だけでなく、海外在住の子ども達にも絵本を届けていますが、絵本が定期的に送られる「童話館ぶっくらぶ」に入会後、3年継続した際にプレゼントされるオリジナルエプロンは、障害福祉サービス事業所**ワークセンターほたる**(長崎市古賀町)の障害のある方が作製しています。

今回はエプロンのことについて、童話館の**川端強**代表取締役と、ワークセンターほたるの**安部紅仁子**指導員にインタビューしました。

- どうして施設に発注したんですか？

**川端さん**「当初、企業に発注するつもりでしたが、子ども達に障害のある方が作るエプロンを使ってもらい、小さいときから、障害者のことを知ってもらいたいと思ったんです。人間は、知らない人のことは考えられませんからね。エプロンが子どもと障害者の橋渡し役となるんです。」

童話館では、長崎から日本全国に絵本を届けています



- 品質にはこだわったそうですね。

**川端さん**「善意だけの取り引きなら単発で終わってしまいます。施設の単価は、企業よりも100円以上高かったのですが、デザインや布などの品質は妥協せず、何度も改良のお願いをしました。」

- お祝いがエプロンとはかわいいですね。

**川端さん**「子どもがエプロンを着て、親と台所に立ち、一緒に料理をすることで、家族の一員として役割を果たします。また食べ物を通していろんな話ができる。エプロンは魔法の布なんですよ。」



童話館のぞうさんマークが入ったかわいいエプロン。エプロンは、1ヶ月で1000枚以上作るそうです。

**安部さん**「エプロンを縫っていく工程は、全て障害者が役割分担して行っています。」

マシンで直線縫いしかできない人でも、真っ直ぐ縫う工程を任せることで力を発揮してくれます。

川端社長が大量発注してくださったうえに、毎月の納品数も無理せず済むように配慮してくださったので、本当にありがたいと感謝しています。」

### プレゼントコーナー

童話館出版の絵本「さいごのこいぬ」を1名様にプレゼント！

ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「絵本希望」と書いて、下のFAXへ**8月6日(金)まで**にお送りください。



### 障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2561部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年7月9日(毎月第2・第4金曜発行)



やる気を無くさせているのは「やる気主義」、頑張って長時間働いているように見えるのは「見せかけのやる気」...など、刺激的な主張満載の太田肇氏『見せかけの勤勉』の正体(PHP)。やる気を引き出すための「金魚すくいの法則」とは!?部下や子供のやる気を引き出したい方には、ヒントになるかも。

回覧用

## 園児が大好きなほかほかイモロールは、障害者の施設で製造

平戸口社会館保育園(平戸市田平町)では、園児が食べるパンを知的障害者通所授産施設春菜(同)から購入しており、園児は、ほかほかのパンを喜んで食べているようです。

施設のパンを購入して良かったのは、どんなところなのでしょう？

今回は、平戸口社会館保育園の浅田さんと、春菜の松永利弘施設長にインタビューしました。

- 施設と取り引きするきっかけは？

**浅田さん**「近所の産直市場で、園長が春菜のパンをたまたま購入したら、とてもおいしかったんです。そこで、施設を訪問しパンを作っている様子を実際に見て、レモンリングとイモロールを納めていただくことに決めました。」

取材の日は、ちょうどイモロールの日。甘くてほかほかだからみんな完食



- 施設のパンに替えてよかった点は？

**浅田さん**「1番良かったのが、パンのグラム数を園児用に少なめに作ってくれるところです。他にも、できたてのパンだからフワフワであったかいことと、100個近くあるパンを1つずつ袋に入れてくれるのも嬉しいです。袋に入れてあると、すぐに園児に渡せますからね。」

- これからも取り引きが続きそうですね。

**浅田さん**「前園長の方針が『地域の活性化のために、地域の商品を利用しよう』だったので、春菜さんとの取り引きで地域に貢献できるといいですね。」



春菜で作る米や野菜を使った弁当も大好評！

子供に大人気のかわいいクッキー



**松永さん**「当施設で作っているにんにく等の野菜は、田平産で安心だとの評判で、よく売れてます。また、かぶと虫の形をしたクッキーは茨城在住の方から『結婚式の引き出物で使いたい』とネット注文を受けるなど少しずつ広まっています。」

今、力を入れている商品は、米粉を使った『平戸サブレ』。平戸の名所をココアでスタンプした自信作です。」

### プレゼントコーナー

春菜の「平戸サブレ」を3名様にプレゼント。ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「春菜の平戸サブレ希望」と書いて、下のFAXへ8月13日(金)までにお送りください。



障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。

「長崎県CSR通信」 発行部数2556部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年7月23日(毎月第2・第4金曜発行)

大河ドラマ「龍馬伝」を活かして観光客の誘致につなげようと、長崎県は全国で観光PRを実施していますが、明日24日に広島で配布する観光パンフ3000セットは、障害福祉施設「ながさきワークビレッジ」で袋詰めをしました。頑張ってます！本通信は8月13日はお休みし、次号は8月27日(金)発行です。



CSRとは「企業の社会的責任」のことで、消費者が企業を選ぶ基準の1つです。

回覧用

## 夕焼けマラソン参加者用のシューズ入れは、障害者の施設で製作

明日8月28日に五島市で「第24回五島列島夕やけマラソン」が開催されます。真っ赤な夕陽が沈む夕暮れ時、約3000人のランナーがそれぞれの目標を持って走ります。

このビッグイベントに参加する全てのランナーに配られるシューズ入れは、障害福祉サービス事業所**ほっとホーム富希**(五島市富江町)で障害のある方が作っています。

今回は、発注した夕やけマラソン実行委員会の五島市観光交流課**古川八寿男**課長と五島市観光協会**瀬崎繁己**常務理事、受注したほっとホーム富希**三浦直人**理事長にインタビューしました

- 初の施設への発注で、不安はありませんでしたか？

**古川さん**「夕やけマラソンは地元の方に支えられて成り立っているイベント。成果を地域に還元したいと考えていたので、地元で発注できたことはよかったです。デザインも気に入りましたよ。」



シューズ入れを手にした施設の皆さん

古川課長(左から4人目)  
瀬崎常務理事(右から4人目)  
打ち合わせも大詰めのところでした。



ロゴは1度曲がると元に戻らないから、神経を使います。



- シューズ入れを障害者が作ることは？

**古川さん**「決められた納期内に3000個もの商品を作るには集中力が必要になるから訓練にもなるだろうし、収入が増える楽しみもあると嬉しいです。」

- ほぼ全工程で障害者が携わっています。

**瀬崎さん**「機械で大量生産するのではなく、1枚1枚手作業で作ることに意義があります。大きなイベントを支えているという自信を持って欲しいです。」

今後でもできる限り発注したいし、今回の実績で他の取引きにつながればいいですね。」

**三浦さん**「シューズ入れにロゴをプリントする作業は、ゆっくりでいいから正確さを優先してもらっています。」

最近、焼き肉屋と料理教室グループから、ロゴ入りプリントTシャツを発注していただきました。

技術力を高めて、『五島でTシャツプリントするならほっとホーム富希』と言われるようになりたいですね。」

### プレゼントコーナー

ほっとホーム富希製作「五島Tシャツ」を1名様にプレゼント。

ご希望の方は、お名前、電話番号、感想、「ほっとホーム富希Tシャツ希望」と書いて、下のFAXへ9月10日(金)迄にお送りください。

### 障害者施設へ発注すると優遇措置があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



「長崎県CSR通信」発行部数2568部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年8月27日(毎月第2・第4金曜発行)



先日、練習中のプロボウラーに遭遇しました。面白いようにピンを倒して、このままいけばパーフェクト！のところ、惜しくも8投目がスペア...(横でワイワイやっていたせい！?)惜しかった！プロのレベルでは技術力以上に精神力が求められると痛感。奥が深いですね。いつか私もボウリングを習ってみようかな。



回覧用

## 長崎玉成高校で、障害者と生徒と一緒にパンを販売

長崎県では、障害の有無に関係なく、みんなが一緒に生活できるような施策を推進しています。**長崎玉成高等学校**(長崎市愛宕1丁目)福祉科では身体障害者通所授産施設**わかばの里**(長崎市小江原3丁目)の障害のある方が作ったパンを、生徒会の皆さんが施設の方と一緒に販売しています。

今回は、長崎玉成高等学校の**新名桂子**先生と、わかばの里の**矢口喜昭**指導員にお話をうかがいました。

- 校内でパンを販売するきっかけは？

**新名先生**「福祉科の生徒を実習生として受け入れていただいていたのですが、地域に根ざした学校作りを進めるために、地域に貢献する取り組みの1つとして4年前から校内で、生徒と施設の方が一緒にパンの販売をし始めました。」



パンは事前注文方式。  
昼休みになると生徒と先生でこった返しました。

- 生徒の皆さんの反応は？

**新名先生**「障害のある方と接したことがなく、うまく意思疎通ができず戸惑う生徒も、自分達と共通する点を見出しながら徐々に慣れていきますよ。『身近に感じられるようになった』と気持ちも変化するようです。」

- 社会貢献もでき、教育にも役立っていますね。

**新名先生**「女子生徒が喜びそうな新商品の試食会を開くなど、施設の方も工夫しています。味にうるさい生徒が継続して買うのはおいしい証拠ですよ！」



わかばの里では、パンや焼き菓子の他にかわいらしいさを織りも作っています。

**矢口さん**「パンは生きているので、大切に接する意識を持つために、施設ではパンを作るとは言わず、育てると言っています。」

パンの形成や仕分け、包装など各自ができる仕事を責任を持ってやるのでポーっとしている人はいません。

県警察学校や長崎北高校などでもパンを販売していますが、まだまだ、もっと増やしたいですね。」



60種類以上あるパンを計画通りに作っていきます。

障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。  
詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、  
こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



「長崎県CSR通信」発行部数2567部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年9月10日(毎月第2・第4金曜発行)

いきものがかりの「ありがとう」が耳に心地よい連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」。ドラマではあの水木しげるさんでもスランプになってしまいましたが、それを乗り越えるきっかけになったのは友人の一言。他人からの指摘でハッと気づかされることって多いですよ。いよいよドラマも残りわずか。ちょっと寂しいです。

回覧用

## 不動産会社が障害者施設に、障子等の張り替えを発注

破れた障子等を張り替えたことがある方は、その大変さが痛いほどお分かりだと思います...  
長崎市でも事業を展開する**芦塚不動産**(諫早市福田町)は管理する建物の障子等の張り替えを障害福祉サービス事業所**ラポール諫早**(同町)に発注しています。

今回は、発注の経緯などについて、芦塚不動産の**芦塚百合子**常務取締役と、ラポール諫早の**山口勝也**理事長にお話をうかがいました。

- 施設に発注するきっかけは？

**芦塚さん**「空き部屋のふすまや障子、網戸の張り替えを40年以上も頼んでいた表具師さんがご高齢になり新規取引先を探していました。」

「そんな折、当社の建物を借りているラポール諫早で障子等の張り替えもできるとのことで、試しに発注したところ、ビックリするほどキレイに仕上がりに一発合格(笑)障害のある方の能力を再認識しました。」



とても気さくな  
芦塚常務。

楽しく取材させて  
いただきました

- 費用はいかがですか？

**芦塚さん**「きれいに仕上がるのに、費用はとても安いですよ。これで施設の皆さんの工賃が上がれば、言うことなしですね。」



ラポール諫早の皆さんは、  
チームワーク抜群でした！

**山口さん**「当施設では障子張り替えの他に、ハウスクリーニングや洗車、縫製品の作製などを行っています。

障害のある方には『これは誰にも負けない！』というスキルを身につけてもらうようにしています。そしたら、やる気も出て、自信がつかます。

実際、返事もしなかった方が、仕事の喜びをおぼえてから積極的に会話に入るようになりました。」

「芦塚不動産には、借りている建物を増築していただくなど本当によくしていただいています。もっと信頼関係を築けるよう技術力向上に努めます。」

障害者施設へ発注すると**優遇措置**があります。

その1 障害者施設との取引額に応じ**法人税等の優遇措置**があります。  
詳しくはこちら <http://www.pref.nagasaki.jp/kurashi/pdf/zeiseikaisei.pdf>

その2 読む社会貢献情報紙「長崎県CSR通信」バックナンバーは、  
こちら <http://www.pref.nagasaki.jp/syogai/koutin/CSR.html>

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、そのままご返信くださるようお願いいたします。



「長崎県CSR通信」 発行部数2566部 電話**095-895-2454** FAX**095-823-5082**

発行 長崎県障害福祉課(担当:村井)平成22年9月24日(毎月第2・第4金曜発行)

ワタミの渡邊美樹代表取締役会長のノンフィクション小説「青年社長」を読んでいます。渡邊会長は仕事も恋愛もトントンまでやり遂げる方で、リーダーシップのあり方など大いにヒントを得ました。ちなみにグループ会社のワタミタクシヨク(諫早市)さんには、障害者雇用などで大変お世話になっています。感謝！